

日下議員（公明党）

令和3年2月24日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）高等学校等奨学金特別会計を活用した更なる経済的支援の拡充について
子供たちが安心して学ぶことのできる環境整備のため、せめて経済が回復するまでのこの数年間は支援の拡充をしていくべきではないかと思うが、教育長の所見を伺う。

（答）

生徒一人1台のコンピュータの導入に当たりましては、経済的に困難な状況にある生徒に支援を行うことが重要であると認識しており、非課税世帯を対象に、今年度から、パソコン等の購入費用を支援する給付制度を設けたところでございます。

一方、この制度の対象とならない世帯におきましても、パソコン等の購入が困難な世帯があると考えており、こうした世帯に対しましては、高等学校入学前に最大15万円を借りることのできる「入学準備金制度」により支援を行っております。

今年度は更に、新型コロナウイルス感染症の影響により家計急変した世帯を支援するため、毎月貸与する奨学金を一括して貸し付けすることも可能とする緊急募集を行うとともに、授業料以外の教育費を支援する「奨学給付金」においては、年度中途に非課税相当となった世帯へも給付を行うなど、制度の拡充を図っております。

今後とも、経済的に困難な状況にある生徒を取り残すことがないように、こうした施策を推進してまいります。